

岡山県財政構造改革プラン

～ 持続可能な財政構造への改革～

平成20年11月18日

岡山県

目次

- 「財政構造改革プラン」策定の経緯 …… 1
- 持続可能な財政運営のための『5つの目標』 …… 3
- 財政構造改革プランの取組内容 …… 4
- 改革後に生まれ変わる県財政 …… 6

「財政構造改革プラン」策定の経緯

財政に関する中長期試算 (H20 ~ H30) (H20.5.29)

今後、巨額の収支不足(平均約400億円)が続く見込み

臨時的歳入対策での対応はもはや限界

交付税ショック
(300億円)の
後遺症が続く!

あるべき貯金
は既に枯渇!

特定目的基金の
活用も限界に!
(残り50億円)

財政再生団体への転落回避に向け

岡山県財政危機宣言 (H20.6.2)

これまでの『行財政改革の総仕上げ』

県民サービスにも留意しつつ…

- 官と民との役割分担
- 県と市町村との役割分担
- 県行政の守備範囲そのものの見直し

あらゆる事業をゼロベース
で見直し

「岡山県財政構造改革プラン(素案)」を策定 (H20.8.27)

素案から最終方針へ

改革プラン素案への様々なご意見やご要望等を伺いながら調整



「岡山県財政構造改革プラン」を決定 (H20.11.18)

持続可能な財政運営のための『5つの目標』

歳入に見合った歳出規模へ転換します。

収入にあわせた予算を組みます

プライマリーバランス(元金ベース)の黒字を維持していきます。

県債残高をこれ以上増やしません

柔軟でスリムな組織で効率的・効果的な業務を行います。

同規模県と比較して最もスリムな体制を目指します

臨時的な歳入対策に頼らない健全な財政運営を行います。

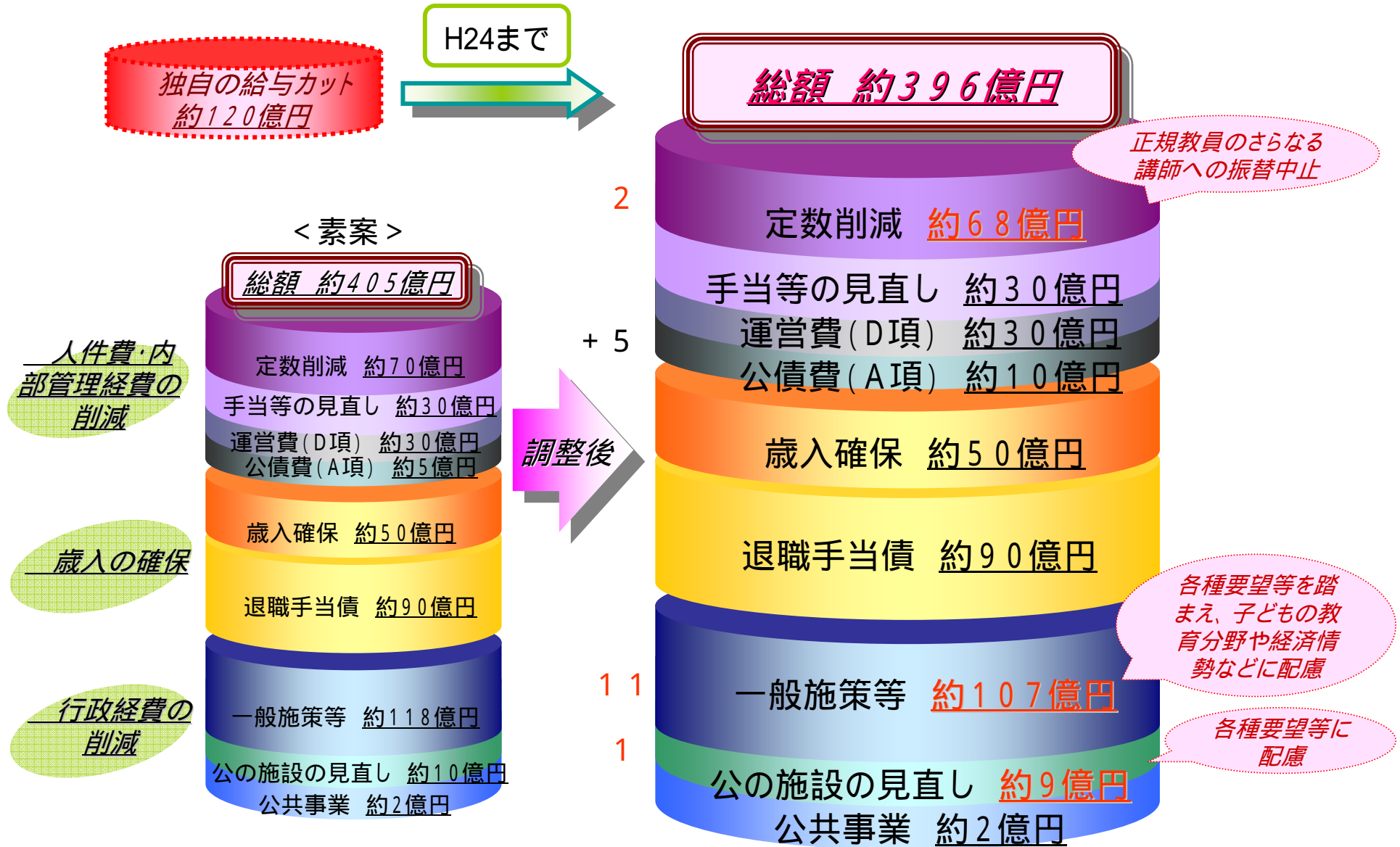
行革推進債などの緊急避難的な対策による財政運営と決別します

以上、すべての改革を平成24年度までに達成します。

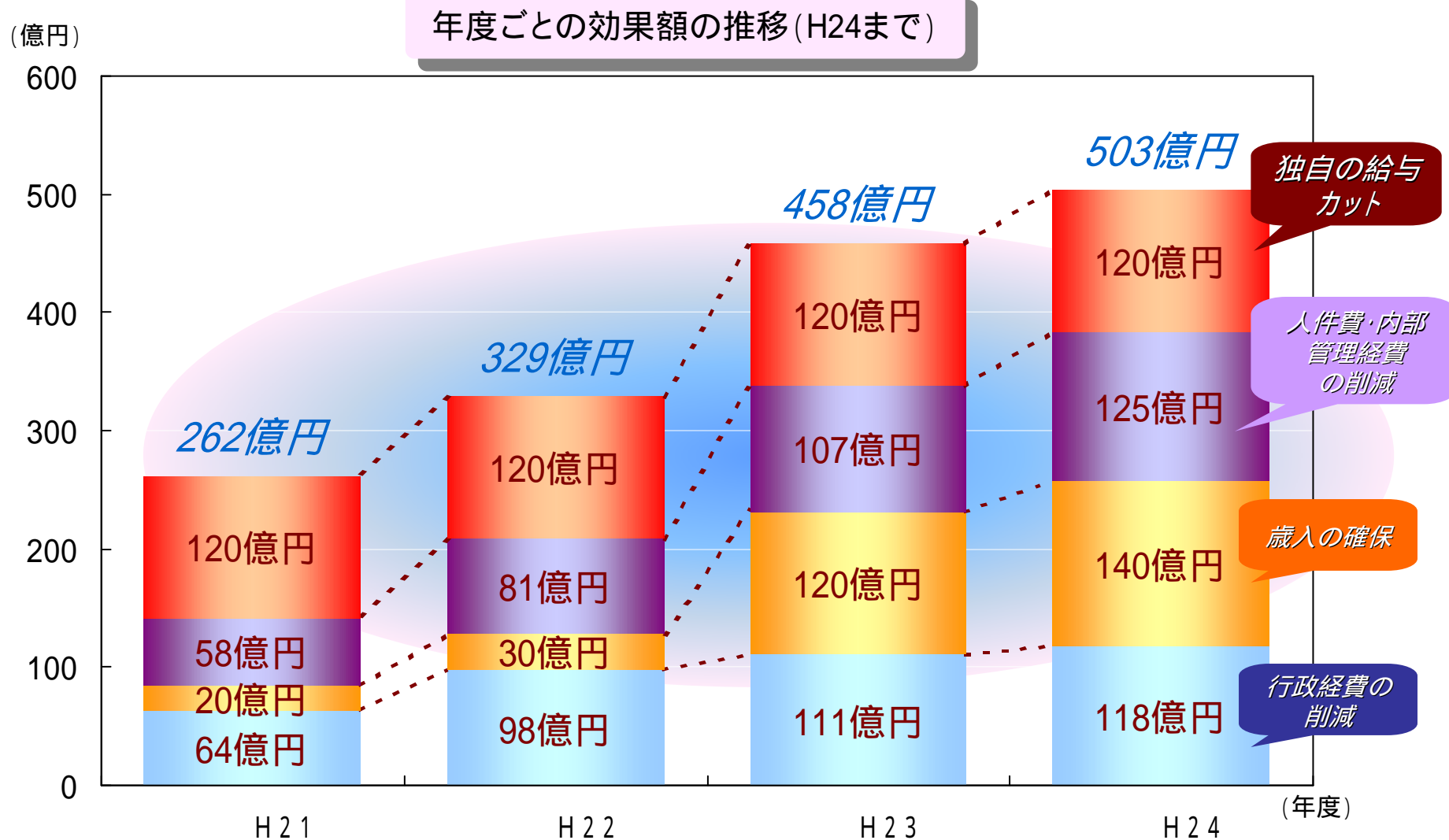
今後、4年間で改革の総仕上げを行います

今後、持続可能な財政運営を維持するために『5つの目標』を必ず守っていきます。

財政構造改革プランの取組内容



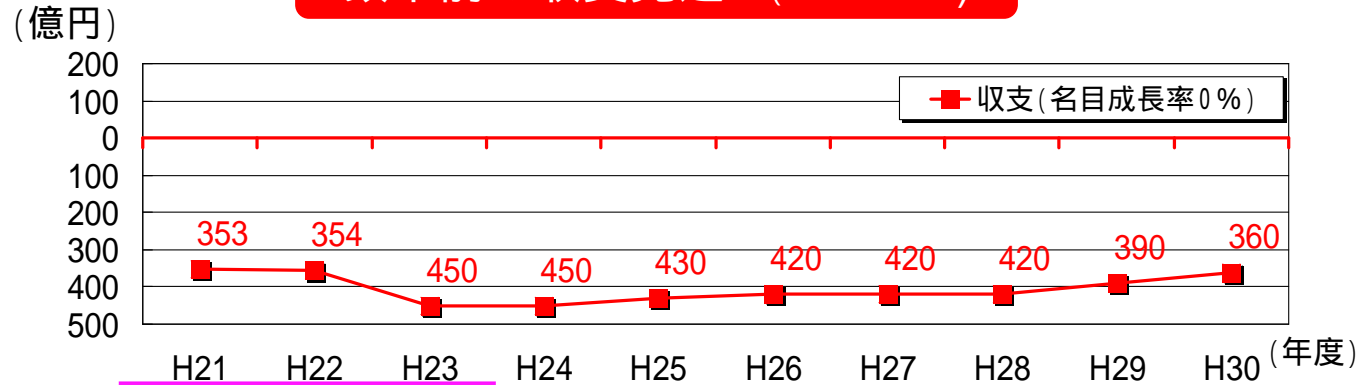
持続可能な財政構造に向けた着実な取組



年度によっては、一時的に、特定目的基金の活用等により対応

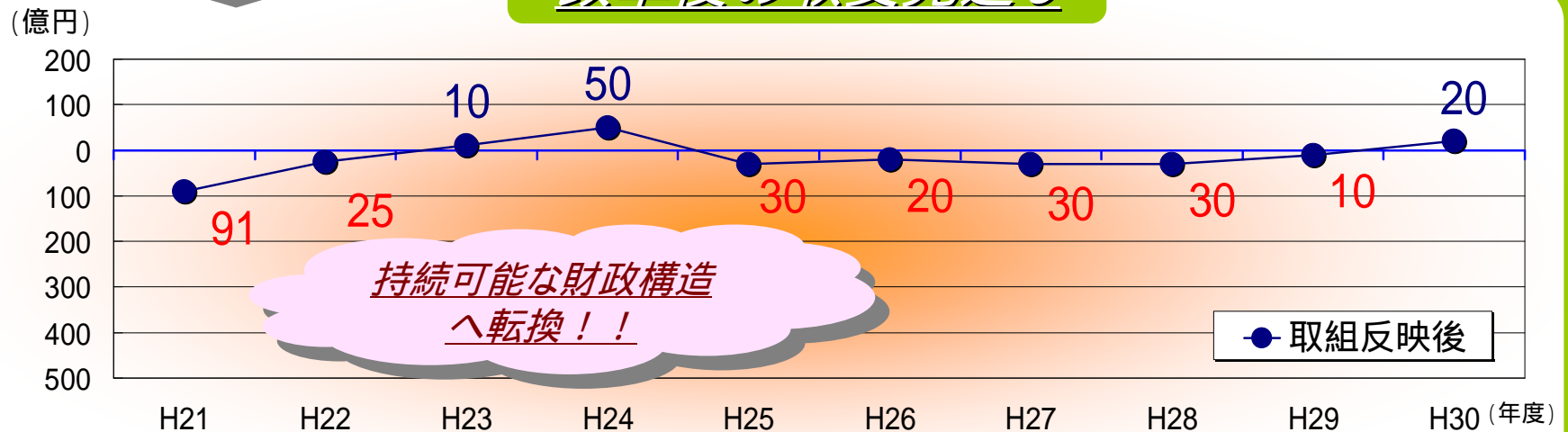
24年度以降、巨額な収支不足は解消！

改革前の収支見通し (H20.8.11)



財政構造改革反映

改革後の収支見通し

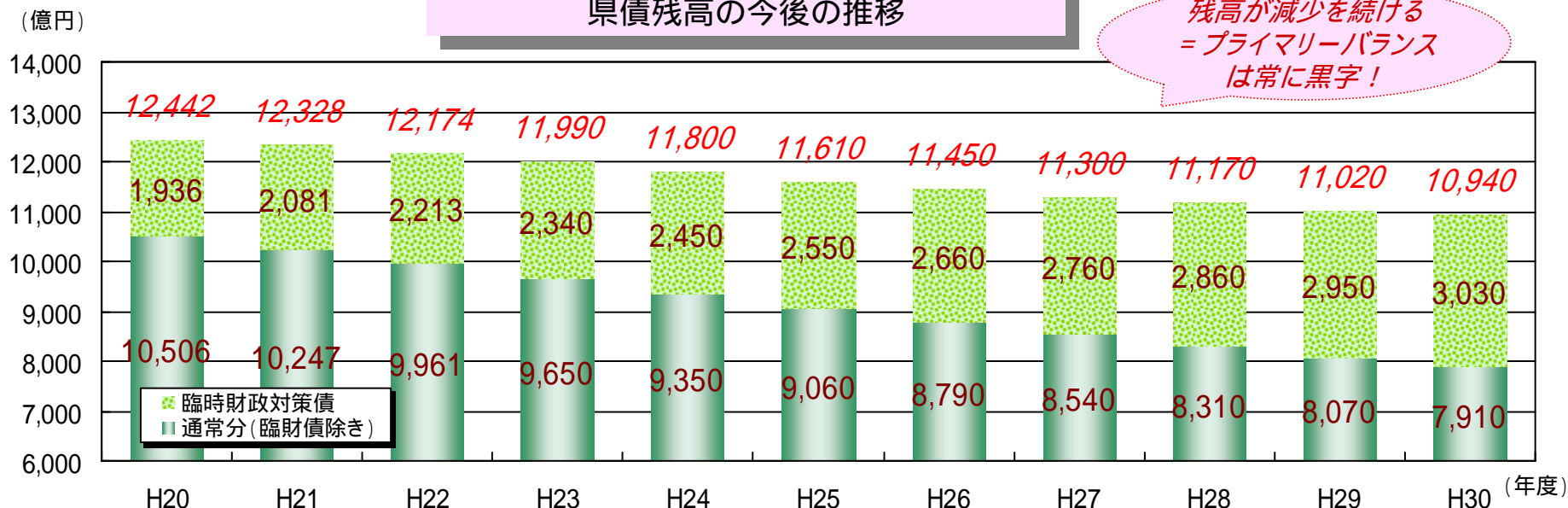


持続可能な財政構造
へ転換！！

年度によっては、一時的に、特定目的基金の活用等により対応

フローベースはもとより、ストックベースもさらに改善

県債残高の今後の推移



起債制限比率・実質公債費比率の今後の推移

